流山子育てネット　これまでの歩み・ダイジェスト

平成 29 年 11 月 7 日

2013 年　子ども・子育て新支援制度開始に向け、地方版子ども・子育て会議が各自治体で発足する。流山市では淑徳大学教授の柏女霊峰氏が会長となり、審議委員は今後の「流山市子ども・子育て支援総合計画」に参画することになる。

2015 年３月　約２年かけて、流山市子ども・子育て支援総合計画「子どもをみんなで育む計画」が策定される。増加する子育て世帯に対応するため、市はハード面の整備に迫られることになるが、保育量の確保だけでなく、多様化する子育て環境の中でその一人一人を切れ目なく細やかに社会で見守る体制を強化する必要があることに気づく。この計画を推進、周知すると共に、子育て支援者同士の連携を図るため子ども・子育て会議の審議委員有志でシンポジウムの計画がなされ、「流山子育てネット」設立準備会が発足する。
2015 年 6 月　「子どもをみんなで育む計画」シンポジウム開催。138 名が参加し、寄付金が 10 万円を超える。流山子育てネットが発足した。

2016 年 7 月　「地域で支える子どもの発達障害」講演会・フォーラム　講師：海津敦子氏（現文京区区議会議員）予想を超える９０名の参加があった。市会議員も何名か参加していたため、次の市議会で発達障害に関する質問が集中し、つばさ学園で何年も要望されていたものが進んだという成果もあった。
2016 年 11 月　「たたかない子育て」講演会　児童虐待防止ネットワーク　高祖常子氏　参加者約４０名
2016 年 12 月金子書房児童心理臨時増刊号『子育て支援のこれから』の中で「育児支援のネットワークをどう組むか」という題目で柏女・田中が寄稿

2017 年 7 月　これからの子ども・子育て支援を考える代表者会議　開催
行政（子ども家庭課・健康増進課）保育園、小規模保育園、幼稚園、学童保育、小学校、NPO、流山市社会福祉協議会（児童民生委員）が並び、これからの子育て支援を語り合った。グラフィックレコーディングという手法を取り入れ、会議での議論やカンファレンスの流れを視覚化し、参加者へ共有した。

流山子育てネットの記事が掲載されています！